

事務事業評価シート（１／２）

646 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0216
評価年度 令和 5年度
所属 1811
事務事業番号 00935

進捗区分 評価完了
建設部建設監理課
放置自転車対策事業

所属長名 馬場 靖
記入者 田中 悠也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	011	放置自転車対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	自転車法、及び大津市自転車等の放置防止に関する条例					
事業概要	(事業概要) 「大津市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき設定した自転車等の放置禁止区域における『啓発・撤去・返還』業務を民間委託し、駅周辺の放置自転車等をなくし良好な環境及び美観を保持する。大津市道上等の啓発・撤去については、直営及び民間委託で行っている。 放置禁止区域・・・小野駅周辺・堅田駅周辺・おごと温泉駅周辺・比叡山坂本駅周辺・唐崎駅周辺・大津京駅周辺・大津駅周辺・膳所駅周辺・石山駅周辺・瀬田駅周辺・びわこ浜大津駅周辺					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) これまでの取組の結果、放置自転車の台数は減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 放置禁止区域における放置防止啓発作業の適切な人員配置や撤去日数の見直し等、効率化に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自転車及び原動機付自転車の所有者または利用者
目的(何のために)	駅前広場や大津市道上における自転車・原動機付自転車の放置の防止
手段(どのようなやり方で)	放置防止の『啓発活動』及び、禁止区域や大津市道上の放置自転車等の撤去
成果(どのような状態にするのか)	歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,576	14,110	14,986	15,041	15,041	15,041	15,041
事業費	6,962	8,408	9,284	9,339	9,339	9,339	9,339
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	205	231	214	214	214	214	214
一般財源	6,757	8,177	9,070	9,125	9,125	9,125	9,125
人件費計	5,614	5,702	5,702	5,702	5,702	5,702	5,702
事務・技術（人）	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

647 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0216
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1811 建設部建設監理課
事務事業番号 00935 放置自転車対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	建設部建設監理課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)啓発台数	台	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		423.00	381.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)撤去台数（違法駐車台数）	台	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		543.00	417.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		円滑に撤去と啓発が行われており返還までスムーズに行われている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		市道上や里道上の放置自転車は減少傾向にある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		週3回の啓発と撤去は抑止効果もあり効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		道路交通の円滑化に寄与している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	これまでの取組の成果により放置自転車の啓発及び撤去台数は減少傾向にあり、歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持を続けてきた。 また、石山寺駅周辺の駐輪場外の駐車が問題となっていたが、啓発日数を増やすなどして対策した結果、場外の駐車は極めて少なくなっている。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	事業の効率化を図りつつ、重要拠点への対応が行われていることは評価できる。引き続き、効率的な取組に努めるとともに、今後の放置自転車への警告、撤去台数等の状況に応じ、必要な対策を講じていくこと。		

648 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

649 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0217
評価年度 令和 5年度
所属 1801
事務事業番号 00897

進捗区分 評価完了
建設部地域交通政策課
公共輸送対策推進事業

所属長名 田中 仁史
記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	001	公共輸送対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					
事業概要	(事業概要) 令和３年３月策定の大津市地域公共交通計画に基づき、既存の地域公共交通の維持を図るとともに、デマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段の確保に向けた施策を推進し、誰もが安全・快適で、安心して暮らせる地域公共交通の実現を目指す。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 地域公共交通は、利用者数の減少や自動車運転手の労働時間等の改善に向けた対応、運転手不足等により、特に路線バスでは減便や廃止をせざるを得ない厳しい経営環境が続いており、既存の地域公共交通を維持・確保することが重要な課題となっている。 (見直しや改善等の経過) 路線バスにおいては運行継続に向けた支援を行うとともに、路線バスが廃止等された地域においては、地域住民・交通事業者と協働で、デマンド型乗合タクシーを導入し、新たな移動手段の確保を進めてきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	交通事業者、地域住民、行政が
目的(何のために)	既存の地域公共交通を維持・確保するために
手段(どのようなやり方で)	大津市地域公共交通計画に掲げる各種事業を協働して実施することで
成果(どのような状態にするのか)	安全、快適で安心して暮らせる地域公共交通ネットワークが形成される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	226,573	87,987	108,865	115,663	108,663	108,663	108,663
事業費	195,890	65,639	85,347	90,663	83,663	83,663	83,663
国庫支出金	122,833	0	0	3,500	0	0	0
県支出金	6,339	6,139	5,460	5,460	5,460	5,460	5,460
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,671	1,562	1,562	1,562	1,562	1,562	1,562
一般財源	65,047	57,938	78,325	80,141	76,641	76,641	76,641
人件費計	30,683	22,348	23,518	25,000	25,000	25,000	25,000
事務・技術（人）	3.89	2.82	2.97	3.16	3.16	3.16	3.16
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

650 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0217
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1801 建設部地域交通政策課
事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	建設部地域交通政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)公共交通の維持・確保に係る事業の実施数	事業	0.00	0.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)公共交通の維持・確保に係る事業の実施数	事業	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)1日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人／日	345,000.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00
		278,041.00	287,807.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		地域住民、交通事業者、行政が相互に連携し実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		前年度と比較し徐々にではあるが成果は上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		地域住民、交通事業者と連携し、効率的に事業が推進できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		デマンド型乗合タクシーにより一定の移動手段が確保できている			
	評価理由					

【所属評価結果】				
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大	
所属コメント (400文字)	令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、各種施策の進捗状況を確認しつつ、既存の公共交通の維持に向けては、利用促進の取組など、地域住民・交通事業者・行政の三者が協働し、取組を進められた。また、新たな移動手段の確保に向けては、デマンド型乗合タクシーについて、効率的かつ持続可能な運行となるよう、運行内容の見直しを実施した。			

【部局評価結果】				
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大	
部局コメント (400文字)	交通事業者からは、利用者数の減少や自動車運転手の労働時間等の改善に向けた対応などにより、減便や廃止をせざるを得ない厳しい経営環境が続いていると伺っており、今後も既存の地域公共交通の維持に向けた取組の充実を図ること。 また、路線バスの廃止等を補うデマンド型乗合タクシーについては、地域住民等の重要な移動手段となっていることから、引き続き、効率的かつ持続可能な運行となるよう検討を進めること。			

651 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

652 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0218
評価年度 令和 5年度
所属 1801
事務事業番号 04163

進捗区分 評価完了
建設部地域交通政策課
道路安全施設整備事業

所属長名 田中 仁史
記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします			
施策	026	交通ネットワークの充実			
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保			
事務事業	031	道路安全施設整備事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	びワイチ推進条例、びワイチ推進総合ビジョン				
事業概要	滋賀県のびワイチ推進総合ビジョン及びびワイチ推進条例等に基づき、自転車走行環境の整備を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 平成30年3月に滋賀県においてびワイチ推進総合ビジョンが策定され、滋賀県が中心となり関係自治体と連携のもと、びわこ一周サイクリング（びワイチ）の走行環境の整備が図られてきた。 令和元年11月7日付でびワイチルートが「ナショナルサイクルルート」の指定を受け、さらに、令和4年3月に滋賀県においてびワイチ推進条例が制定されたことから、県市連携のもと、走行環境の整備が求められている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ナショナルサイクルルートに指定されたびワイチルートを
目的(何のために)	サイクリストがサイクリングを楽しむために
手段(どのようなやり方で)	定期的に点検・整備することにより
成果(どのような状態にするのか)	安全・安心で快適なサイクリングができるようになる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,112	2,922	8,104	3,611	3,611	3,611	3,611
事業費	23,020	1,596	6,700	1,895	1,895	1,895	1,895
国庫支出金	0	0	2,300	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	23,020	1,596	4,400	1,895	1,895	1,895	1,895
人件費計	1,092	1,326	1,404	1,716	1,716	1,716	1,716
事務・技術（人）	0.14	0.17	0.18	0.22	0.22	0.22	0.22
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

653 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0218
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1801 建設部地域交通政策課
事務事業番号 04163 道路安全施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-40-00	道路安全施設整備費	建設部地域交通政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)道路安全施設整備施工延長（累計）	km	13.00	15.00	18.00	20.00	22.00	24.00	24.00
		20.00	20.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)整備率(累計)	%	54.00	63.00	75.00	83.00	92.00	100.00	100.00
		83.00	86.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		本市が所管する部分について、計画的に整備できている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		活動指標、成果指標ともに目標が達成できた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		計画的に整備できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		ビワイチ等自転車利用者の安全・安心につながっている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ビワイチ推進条例に基づき、市道等における青矢羽根や案内看板の設置など、計画どおり自転車走行環境の整備を推進した。		

【部局評価結果】	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ナショナルサイクルルートについては、引き続き、県と連携し、安全・安心・快適な自転車走行環境となるよう整備を進めること。			

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1801 建設部地域交通政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 04163 道路安全施設整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)道路安全施設整備 施工延長（累計）	km	13.00 20.00	15.00 20.70	18.00 0.00	20.00 0.00	22.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00
	指標説明	道路安全施設整備を施工延長した距離						
(成果)整備率(累計)	%	54.00 83.00	63.00 86.00	75.00 0.00	83.00 0.00	92.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	道路安全施設の整備率						
			</					

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0219
評価年度令和 5年度
所属1804
事務事業番号00951

進捗区分 評価完了
建設部道路・河川管理課
交通バリアフリー推進事業

所属長名 南 康浩
記入者 茶木 英之

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	003	障害者に配慮したバリアフリー化の推進				
事務事業	002	交通バリアフリー推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律					
事業概要	(事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたＪＲ大津駅～京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等の社会参加機会が増えてきたことにより、道路等の公共空間におけるバリアフリー化を更に拡大させる必要がある。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区のなかで、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	高齢者、障害者等が
目的(何のために)	自立した日常生活を送れるように
手段(どのようなやり方で)	歩道の段差の解消、勾配修正などの改修工事を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	誰もが利用しやすい歩道空間が確保される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	22,190	30,354	33,120	33,120	33,120	33,120	33,120
事業費	14,080	22,234	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
国庫支出金	7,744	5,772	6,490	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	5,632	14,763	16,600	22,500	22,500	22,500	22,500
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	704	1,699	1,910	2,500	2,500	2,500	2,500
人件費計	8,110	8,120	8,120	8,120	8,120	8,120	8,120
事務・技術（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

656 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0219
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1804 建設部道路・河川管理課
事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-20-00	人にやさしい道づくり事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)整備箇所 1 3 3箇所	箇所	10. 00	10. 00	10. 00	6. 00	6. 00	6. 00	5. 00
		9. 00	17. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)整備率	%	65. 41	72. 93	82. 71	87. 22	91. 73	96. 24	100. 00
		62. 40	75. 19	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】		基準			評価
評価項目	評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市道のバリアフリー化を図るため妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	誰もが利用しやすい歩道空間が確保される			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	道路の維持修繕も同時に行っており、迅速かつコスト削減も図られ			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	安全な交通環境を確保に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	誰もが安心して快適に移動できる「人にやさしいまち」の実現に向けて、事業を継続していく。次期バリアフリー基本構想等で新たに設定される重点整備地区においても整備を進めていく。		

【部局評価結果】	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	大津市バリアフリー基本構想等に基づき、引き続き計画的な整備に取り組まれない。			

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1804 建設部道路・河川管理課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)整備箇所 1 3 3箇所	箇所	10.00	10.00	10.00	6.00	6.00	6.00	5.00
		9.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	整備箇所数 1 3 3箇所						
(成果)整備率	%	65.41	72.93	82.71	87.22	91.73	96.24	100.00
		62.40	75.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	完工箇所数（累計）／全体整備箇所数 1 3 3箇所						
</								

事務事業評価シート（１／２）

658 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0220
評価年度 令和 5年度
所属 1804
事務事業番号 02207
進捗区分 評価完了
建設部道路・河川管理課
道路照明灯ＬＥＤ化推進事業

所属長名 南 康浩
記入者 野川 翔平

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします			
施策	022	防犯力の向上と生活安全の推進			
取組の方向性	001	防犯活動の強化			
事務事業	003	道路照明灯ＬＥＤ化推進事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	道路法 道路構造令				
事業概要	(事業概要) 既存の市街灯・防犯灯の照明器具のＬＥＤ化を進める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市道等の夜間交通の安全確保に加え、市民の防犯意識の高まりから市街灯の設置要望が増加している。 (見直しや改善等の経過) 平成２３年度１１月以降、市街灯・防犯灯のうち、蛍光灯で維持管理しているものを中心に、老朽化した照明器具から順次ＬＥＤ照明器具に取り替えを進め、令和４年度で完了した。 令和５年度からは、１０年計画で水銀灯約３０００基のＬＥＤ化を順次進める。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	既存の市街灯・防犯灯（蛍光灯約２４，０００基、水銀灯約３，０００基）を
目的(何のために)	市街灯・防犯灯の省エネ、少メンテナンスによる環境負荷軽減のために
手段(どのようなやり方で)	省エネかつ長寿命なＬＥＤ器具へ取り替えることで
成果(どのような状態にするのか)	修繕費や消費電力を削減し、夜間の交通安全や防犯向上へ貢献する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	47,100	65,875	67,880	67,880	67,880	67,880	67,880
事業費	39,320	57,995	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	52,196	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	39,320	5,799	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
人件費計	7,780	7,880	7,880	7,880	7,880	7,880	7,880
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

659 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0220
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1804 建設部道路・河川管理課
事務事業番号 02207 道路照明灯ＬＥＤ化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯ＬＥＤ化推進事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) ＬＥＤ器具取替件数	件	1,855.00	300.00	600.00	900.00	1,200.00	1,500.00	1,800.00
		1,489.00	475.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) ＬＥＤ器具取替件数目標達成率	%	100.00	10.00	20.00	30.00	40.00	50.00	60.00
		80.26	15.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		市内全域のＬＥＤ器具の規格統一を図るため妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		計画的にＬＥＤ器具へ取替え、夜間の安全確保に貢献している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		不点灯修繕も同時に行えるため、迅速かつコスト軽減も図れている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		夜間交通の安全確保や地域の防犯意識の高揚に寄与している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	事業開始当初、約24,000基の蛍光灯具を計画的にＬＥＤ器具に更新することとし、令和4年度にすべて完了した。 令和5年度以降は、現状の事業規模を維持しながら、10年計画で約3,000基の水銀灯具のＬＥＤ化を順次進めている。 令和5年度の実績は、当初の更新計画に加え、水銀灯の球切れに合わせて行った器具の更新が多く発生し、計画値を超える実績となった。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	引き続き、水銀灯のＬＥＤ化に取り組まれるとともに、最新機器の情報を収集し、更なる省電力化、明るさの向上に努められたい。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1804 建設部道路・河川管理課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)LED器具取替件数	件	1,855.00	300.00	600.00	900.00	1,200.00	1,500.00	1,800.00
		1,489.00	475.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	LED器具取替件数						
(成果)LED器具取替件数目標達成率	%	100.00	10.00	20.00	30.00	40.00	50.00	60.00
		80.26	15.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	目標値／実績値						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0221
評価年度 令和 5年度
所属 1814
事務事業番号 02369

進捗区分 評価完了
建設部建築課
公共施設適正管理推進事業

所属長名 岡田 大斉
記入者 前田 敏秀

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034	公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001	公共施設等の適正化				
事務事業	002	公共施設適正管理推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	建築基準法					
事業概要	(事業概要) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要の高まりにより、整備してきた多くの施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況の把握や情報を基にした施設所管課への技術的支援を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 多くの市有施設の老朽化に対応していくため、長寿命化を進めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末活用による点検情報の集約により、改善の優先順位を整理しており、平成30年度には法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行った。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	建築基準法で規定された200㎡を超える特定建築物及び防火設備を有する施設について
目的(何のために)	市有施設を適正かつ安全に維持保全し、市民に安心して施設を利用していただくために
手段(どのようなやり方で)	施設情報を集約した施設台帳（電子カルテ）を活用し、建築、建築設備及び防火設備の定期点検を実施するとともに、施設管理者等に施設保全管理に係る情報の提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	施設の安全性、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減につなげる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33,001	40,954	16,410	16,122	16,122	16,122	16,122
事業費	1,417	2,632	1,800	1,512	1,512	1,512	1,512
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,417	2,632	1,800	1,512	1,512	1,512	1,512
人件費計	31,584	38,322	14,610	14,610	14,610	14,610	14,610
事務・技術（人）	3.00	3.83	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

662 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0221
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1814 建設部建築課
事務事業番号 02369 公共施設適正管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-60-00-10-00	公共施設適正管理推進事業費	建設部建築課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)市有施設の定期点検の実施	点検施設数	287.00	285.00	284.00	284.00	284.00	284.00	284.00
		293.00	284.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)防火設備点検の実施	点検施設数	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00
		116.00	116.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果の蓄積及び通知	実施率（％）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果を活用した新たな施設保全の仕組みの構築	進捗率（％）	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		法定点検として公共施設の適正管理に施設情報を蓄積活用			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		点検情報の蓄積により施設状態の変化や修繕優先度を随時把握			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		不良部位の情報、指摘箇所を情報端末により可視化し効果的に運用			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		点検結果を踏まえた技術支援により施設の効率的な適正管理を推進			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後の公共施設のあり方については、既存施設の長寿命化に取り組む必要があることから、施設情報を基に本事業の取組を推進する。 なお、令和6年度からの公共施設包括管理業務導入を通して、施設の定期点検において民間活力を有効に活用しながら、さらに効率化を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	施設点検による現状把握や情報を基にした既存施設の長寿命化に向けた取組を積極的に支援していくこと。 今年度から導入予定である公共施設包括管理業務により、民間活力を有効に活用しながら効率化を推進していくと同時に職員の技術向上に努めること。		

663 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050